



NARA NEWS PAPER
〒630-8686 奈良市法華寺町2番地4 電話(0742)32-10
発行所 奈良新聞社 ©奈良新聞社 2018
本社(ダイヤルイン)0742-
総務課・経理課 32-2111 中南和支社
営業課 32-2112 0744-34-122
編集部 32-2113 大阪支社
各課・シニア事務局 32-2114 06-6211-279
販売課・事業課 32-2115 東京支社
文化事業課 32-2117 03-5565-003
出版ラビング課 32-2118
www.nara-np.co.jp

奈良市予算案

市長、修正し再提出

原案撤回 映画祭全額カット

奈良市議会の3月定例会は23日、本会議を再開し、仲川元庸市長が総額1310億円の平成30年度一般会計予算案の撤回を表明、議会は取り下げを承認した。市は同日、「なら国際映画祭」補助金2000万円を全額削除するなど4億7360万円を減額する予算案を再提出。定例会は28日まで会期を延長して審議する。議会の委員会採決を受け、市長が当初予算案を撤回するのは29年度に続き2年連続。仲川市長は「市が考える政策、事業がすべて正解ではない。見直すべきは見直し、真摯(しんしん)な対応をしたい」と述べたが、議会対策のまますさを露呈した格好だ。

市長は来年度予算案の撤回について「予算決算委員会での修正案が提出され、うち一つが可決された。いただいた意見と議員多数の意思として示され、た予算修正の事実を受け止め(原案を)撤回し再度提案したい」と議場で説明。直ちに採決が行われ、委員会可決の修正案の提案者である中西吉日出氏(無所属)や日本維新の会などを除き、賛成多数で撤回が承認された。市長は即日、修正した予算案を北良晃議長に提出。中西氏の修正案でも削除された鴻ノ池陸上競技場大型映像表示装置設置(5億円)と、なら国際映画祭補助金をそれぞれ全額カットする。また現在16人が活動している「いじめ対応支援教員」を、復活させる。定例

会は26日に提案説明を予定、27日に質疑を行う。仲川市長は本会議後、報道陣の取材に際し、原案撤回に関して「特になら国際映画祭など『慎重に』との声をいただいた。強引に進めるのはよくないと判断したと説明。ただ『事業の意義は議会も理解している。税を使った支援については額の適正性などクリアにした上で、改めて議会に諮りたい』と9月開催に間に合う形で準備する考えを強調した。また市長はこの日の本会議冒頭、20日の委員会でも修正案可決後に行ったコメントで、な

奈良市新斎苑

「財産取得」可決

工事請負の締結も

奈良市議会の3月定例会は23日、本会議を再開し、財産取得や工事請負の締結など新斎苑関連の2議案を含む平成29年度の17議案を可決、同意した。新斎苑関連議案では三橋和史氏(日本維新の会)、植村佳史氏(無所属)らが反対討論を

後、報道陣に対し「市長とそれ以外の特別職を同列に論じるのはいかかかという意見もいただいた。今後どのタイミング、程度で独自のカット案を出すかは現段階では白紙」とし「方法論も含めしっかりと見直し、議会に提案したい」とした。

の謝罪を行った。同発言には、幹事長や議長などで市民の声を奈良(松石聖一幹事長)などから抗議が寄せられた模様で、市長は「議会の意見、意向を完全否定するニュアンスで伝わったように、率直におわびし発言を撤回する」と異例